

静岡県静岡市

集約・再編等を見据えた戦略的橋梁マネジメント

【テーマ】 持続可能なインフラマネジメントの実現 / スモールコンセッションの推進 / グリーン社会の実現 / その他（ ）

【対象施設】 道路 橋梁 公園 / 上下水道 / 河川 / 港湾 / 遊休施設 / その他（ ）

【事業方式】 コンセッション その他のPFI / 包括的民間委託 / その他（ ）

人口減少や橋梁の老朽化が加速する中、持続可能な橋梁マネジメントを実現するため、地域の将来像に合わせた橋梁ストックの適正化（集約・再編等）が必要である。集約・再編等は、直ちに実施できるものではないため、将来の集約・再編等を見据えた戦略的な橋梁マネジメント手法の確立に着手したい。

①解決したい課題

【静岡市の概況】

・人口：約67.5万人(R6)

・面積：1,411.93km<sup>2</sup>

【立地特性】

北は南アルプスから南は駿河湾に至るまで、豊かな自然環境を有しながら、温暖な気候に恵まれている

【管理道路の概況】

・道路延長：約3,200km

・道路橋：約2,600橋



【現状】

・本市の人口は、国の総人口のピークである2008年より早い1990年から減少に転じており、独自推計では、2024年現在から2050年までに約30%減少する。

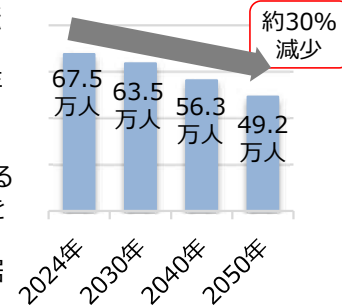
・本市の管理橋梁は、高度経済成長期に集中的に整備されており、架橋から50年以上経過したものが、既に全体の70%を超える状態となっている。

【解決したい課題】

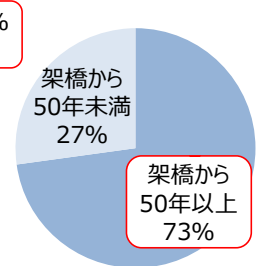
・人口減少や橋梁の老朽化が加速する中、持続可能な橋梁マネジメントを実現するため、地域の将来像に合わせ、橋梁の集約、撤去、更新（ダウンサイジング等）を図り、橋梁ストックを適正化していきたい。

・集約・再編等は、直ちに実施できるものではないため、将来の集約・再編等を見据えた戦略的な橋梁マネジメント手法の確立に着手したい。

＜静岡市の人口＞



＜橋梁の老朽化＞



※架設年次不明を除く

②課題解決の方向性等

ネットワーク等を考慮した集約・再編等計画の立案

- ・ネットワークや担うべき機能、交通量、架橋年数、損傷履歴、損傷状況、迂回の有無、ライフラインの添架状況等の様々な橋梁データをGISにより見える化する。
- ・GISを基に橋梁をグループ化し、集約・再編等の方向性を示した計画を立案する。

『橋梁毎の管理』から『グループ管理』へ

戦略的な橋梁マネジメント手法の立案

- ・現在の本市の道路橋長寿命化計画では、すべての橋梁に対し、予防保全型の維持管理への移行を目指している。
- ・今後は、将来的な集約・再編等を見据え、橋梁の残存寿命を考慮した措置や経過観察などを使い分けた、戦略的な橋梁マネジメント手法の立案が必要である。

『一様な管理』から『メリハリのある管理』へ

官民連携による維持管理体制の検討

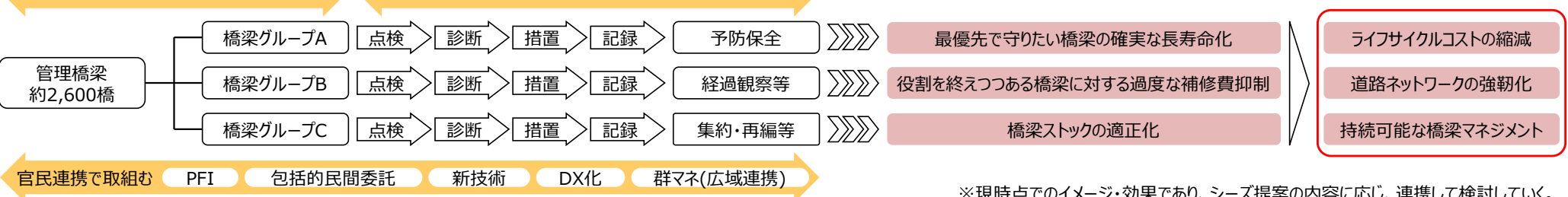
- ・戦略的な橋梁マネジメントを実施するためには、官民連携による維持管理体制を検討する必要がある。
- ・官民連携は従来の手法にとらわれず、新たな発注方式や新技術、DX化など広く検討する。
- ・将来的な包括的民間委託や群マネの可能性も検討する。

『官主導/従来発注』から『官民連携』へ

③課題解決のイメージ・効果

ネットワーク等を考慮したグループ化

戦略的な橋梁マネジメント手法の確立



※現時点でのイメージ・効果であり、シーズ提案の内容に応じ、連携して検討していく。